

					備考欄		
3	5	3	2	4	3	20	配点
問五	問四	問三 (二) (一)	問二	問一	第三問		
ウ	(例) 私が思っていた以上に祖母が私のことを理解し、伸び伸びと働けるように考えてくれていたことに気づき、感激している。 (五十五字)	エ	(例) 違う形になったとしても、物が残っていくこと。 (二十二字)	ア			

					備考欄		
3	2	2	2	3	2	14	配点
問六	問五	問四	問三	問二	問一	第二問	
(例) 共通点に着目する (八字)	エ	ア	ウ	(例) 赤組の優勝を取り上げる (十一字)	イ		

								備考欄	
								漢字は、点画に過不足がなく、字形の正しさを損なっていないければ正答とする。	
2	2	2	2	2	2	2	2	16	配点
問三	問二	問一						第一問	
イ	ウ	⑥ 就任 シユウニン	⑤ 資源 シゲン	④ 群 ム (れ)	③ 遊守 ジュンシユ	② 挑 イ ム	① 埋 ウ (まる)		

					採点の基準等	
					20	配点
					第六問	
					<p>△採点の基準▽</p> <p>1 内容及び表現について グラフから読み取ったことと、そこから考えたことが、適切に表現されているか。 15点</p> <p>2 表記について 5点</p> <p>(1) 誤字や脱字はないか。</p> <p>(2) 仮名遣いや送り仮名は正しいか。</p> <p>(3) 漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。</p> <p>(4) 句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。</p> <p>(5) 原稿用紙の使い方は正しいか。</p> <p>△留意事項▽</p> <p>採点は、前記の△採点の基準▽1, 2によることとするが、次の点についても留意すること。</p> <p>(1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じて適宜減点する。</p> <p>(2) 表記の誤りについては、前記の△採点の基準▽の2によって適宜減点する。</p>	

					備考欄	
4	2	2	2	2	10	配点
問三 (二) (一)	問二	問一	第五問			
ウ	(例) 手紙に書き漏らしがないかを確認しよう (十八字)	イ	見秋風 ミキフユ	ウ		

					備考欄		
					20	配点	
3	5	3	4	3	2	第四問	
問五	問四	問三 (二) (一)	問二	問一			
イ	(例) 伝達や内省の内容は、習得した言語に含まれる言葉の影響を受けた物事の見方や考え方の下でつくり出されるため。 (五十二字)	(例) 「緑」や「オレンジ」と呼んで区別する色彩も「茶」という言葉で表していた (三十五字)	エ				

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。